

地域防災力テーマ

アジア8都市の記者討論

来月4日福岡市

福岡 ワイド



活発な議論が重ねられた前回のアジア都市ジャーナリスト会議
＝今年1月、福岡市

ラジフ・シヨウさん



アジアの都市が抱える諸問題について各国の記者たちが集い考える「第6回アジア都市ジャーナリスト会議」が10月4日午前10時から、福岡市・天神のアクロス福岡で開かれる。今回は東日本大地震の発生を受けて「災害に強いまちづくり」地

域防災力の向上を目指して「をテーマに、日本を含め8都市のジャーナリストが議論する。国連人間居住計画(ハビタット)福岡本部主催、西日本新聞社など後援。

同会議は2007年に始まった。これまでの会議で参加者たちは、急激な都市化に伴い顕在化している交通渋滞や大気・水質汚染、騒音、住環境の悪化、貧困などの社会問題について活発に意見

を交わしてきた。

今回は、中国や韓国、インド、ベトナム、タイ、フィリピン、スリランカ、日本の新聞記者が参加。東日本大震災や福島第1原発事故を踏まえ、各国の自然災害の現状や地域防災の取り組みを報告。そのうえで、被害を最小限に抑えるために、いかに災害に強い都市づくりや防災教育、自主防災組織の構築などを進めていくかをパネルディスカッションで議論する。

討論に先立ち、京都大学大学院地球環境学堂のラジフ・シヨウ准教授の基調講演もある。シヨウさんは、国際環境防災マネジメントが専門。特に、地域社会における防災活動や復興の進め方、気候変動への適応、都市・環境防災教育などを重点的に研究している。今回は「学校防災と地域防災のつながり」をテーマとして話す。参加無料、日英同時通訳付き。問い合わせはハビタット福岡本部092(724)7121。